

■ ^{ひらか}平鹿^{きそ}リンゴの基礎づくり

伊藤 謙吉

いとう けんきち

出身地 横手市（旧平鹿町）

1846年（弘化3年）～1908年（明治41年）

リンゴを導入し、害虫の大発生にもめげず、^{ひらか}平鹿にリンゴを根付かせた。農業改良の指導者として活躍し、ナシ、カキ、モモなどの栽培を試みた。



年譜

- 1846年 ^{ひらか}横手市（旧平鹿町）に生まれる。旧姓・^{きゆうせい さとう}佐藤。
- 1872年 ^{ふまい}腐米改良運動に参加し、成果をあげる。
- 1873年 ^{こちょう しゅうにん}秋田県第6大区6小区戸長に就任。
- 1875年 自力で東京や先進県からリンゴ・ナシ・カキ・モモの^{なえぎ}苗木を求め^{しよくさい}植栽。
- 1889年 自費で農事改良講話会を^{じたく}自宅で開く。
- 1898年 ^{けんめい ぼうじょ}リンゴワタムシ大発生、懸命に防除。
- 1903年 農事実習場を設置、^{こうけいしゃ}農家後継者の^{じんりょく}育成に尽力。
- 1908年 ^{ひらか ぼつ}横手市（旧平鹿町）で没。62歳。